

表 1 主な神経心理学的検査一覧

評価対象機能	正式名称	略称	適応年齢	基準値/カットオフ値など	備考
総合的認知機能	改訂長谷川式簡易知能評価スケール	HDS-R	明示なし	成人の場合、20点以下で認知症の疑い	見当識、減算、野菜名称は小児に不適応な場合あり
	Mini Mental State Examination 日本語版	MMSE-J	明示なし	成人の場合、23点以下で認知症の疑い	日時や地方、減算、書字は小児に不適応な場合あり
	Montreal Cognitive Assessment 日本語版	MOCA-J	明示なし	成人の場合、25点以下で認知症の疑い	時計描画、復唱、数唱、減算、単語記録、見当識は小児に不適応な場合あり
知的機能/知能	Wechsler Preschool and Primary Scale of Intelligence—Third Edition	WPPSI-III	2歳6か月～7歳3か月	全検査IQ (FSIQ)、言語理解指標 (VCI)、知覚推理指標 (PRI)、処理速度指標 (PSI)、語い総合得点 (GLC) の算出が可能	適応年齢に準じる
	Wechsler Intelligence Scale for Children—Fourth Edition	WISC-IV	5歳0か月～16歳11か月	FSIQ、VCI、PRI、PSIに加えて、ワーキングメモリ指標 (WMI) の算出が可能	適応年齢に準じる
	Wechsler Intelligence Scale for Children—Fifth Edition	WISC-V	5歳0か月～16歳11か月	FSIQと知的機能を表す5つの主要指数および5つの補助指標の算出が可能	適応年齢に準じる
	Wechsler Adult Intelligence Scale—Fourth Edition	WAIS-IV	16歳0か月～90歳11か月	FSIQ、VCI、PRI、WMI、PSIの算出が可能	適応年齢に準じる
	田中ビネー知能検査 V		2歳～成人	小児ではIQ、成人では結晶性、流動性、記憶、論理推理の領域別DIQと総合DIQの算出が可能	適応年齢に準じる
知能/非言語性知能	グッドイナフ人物画知能検査 Draw a Man test	DAM	3歳～8歳6か月	精神年齢、DAM-IQの算出が可能	適応年齢に準じる
	コース立方体組み合わせテスト Kohs Block Design Test	KBDT	6歳以上	60歳以上の各年齢帯における健常群、認知症群、およびその中間群の平均値±標準偏差が示されている	学童期の小児にも適応可能
記憶機能	Wechsler Memory Scale—Revised	WMS-R	16歳0か月～74歳11か月	一般的記憶 (言語性/視覚性記憶)、注意/集中力、遅延再生の指標が得られる	言語性対連合、論理的記憶は小児に不適応な場合あり
	リバーミード行動記憶検査 Rivermead Behavioural Memory Test	RBMT	成人	若年層で39歳以下のカットオフ値あり	論理的記憶、約束は小児に不適応な場合あり
聴覚性言語性記憶機能	三宅式記銘力検査		成人	成人における平均値は示されている	小児の知らない語もあり、小児には不適応な場合あり
言語性記憶機能	標準言語性対連合学習検査 Standard verbal paired-associate learning test	S-PA	16～84歳	16歳以上の各年齢帯でそれぞれカットオフ値あり	小児の知らない語もあり、小児には不適応な場合あり
視知覚機能/視覚性記憶	Rey-Osterrieth 複雑図形検査	ROCF	学童期以上	模写課題で視知覚と視空間構成、再生課題で非言語性視覚記憶が評価できる	鉛筆で線画を描ければ実施可能、学童期の小児および神経発達症を有する子どもへの適応がなされている
視知覚機能/視覚失認	標準高次視知覚検査 Visual Perception Test for Agnosia	VPTA	成人	40歳未満および40～70歳の各年齢帯の健常成人の正答率が示されている	相貌認知、シンボル認知、地誌的見当識は小児に不適応な場合あり
視知覚機能	フロスティック視知覚発達検査 Developmental Test of Visual Perception	DTVP	4歳0か月～7歳11か月	下位検査の粗点と生活年齢から、知覚年齢、評価点、知覚指数、パーセントイル順位を算出できる	適応年齢に準じる
視知覚機能/非言語性知能	Raven's Colored Progressive Matrix	RCPM	45歳以上	45歳以上の各年齢帯の健常成人における平均得点±標準偏差が示されている	抽象的な概念があれば実施可能、原本の適応年齢は45歳以上であるが、学童期の小児にも適応可能
遂行 (実行) 機能	遂行機能障害症候群の行動評価 Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome	BADS	成人	40歳以下および41～87歳の成人の各年齢帯でカットオフ値あり	時間判断検査、修正6要素は小児に不適応な場合あり
前頭葉機能	Frontal Assessment Battery	FAB	明示なし	カットオフ値は症候により異なる 小児におけるカットオフ値は定められていない	小児であってもルールが理解できれば可能
	慶應版 Wisconsin Card Sorting Test 慶應 version	KWCST	成人	健常成人、高齢者における正常値が示されている	原本の適応年齢は成人となっているが、5～6歳以上の小児および神経発達症を有する子どもへの適応がなされている
注意/記憶/前頭葉/言語処理機能	仮名拾いテスト (浜松式)		明示なし	10歳以上の各年齢帯でそれぞれカットオフ値あり	小児であってもルールが理解できれば可能
注意機能	Trail Making Test 日本語版	TMT-J	20～89歳	20歳代以上の各年齢帯でそれぞれカットオフ値あり	小児であってもルールが理解できれば可能
	改訂版標準注意検査法 Clinical Assessment for Attention—Revised	CAT-R	成人	20歳代以上の各年齢帯でそれぞれ下位項目ごとにカットオフ値あり	下位項目のPASAT (Paced Auditory Serial Addition Test) では繰り越し算の能力が必要
空間性注意機能	行動性無視検査 Behavioural Inattention Test	BIT	成人	成人において全体および下位項目ごとにカットオフ値あり	行動検査では漢字やアナログ時計の読み取り、漢字の書字能力が必要
言語機能/失語	標準失語症検査 Standard Language Test of Aphasia	SLTA	成人	成人の失語症例 (重症度別) および非失語症例における各下位検査の平均±標準偏差が示されている	低頻度語の呼称や漢字の読解・音読・書字、除算は小児に不適応な場合あり
	標準失語症検査補助テスト	SLTA-ST	成人	成人の失語症例、非失語症例、および健常者における平均±標準偏差が示されている	繰り越しの暗算、長文理解は小児に不適応な場合あり
行為 (模倣・ジェスチャー・パントマイム・道具使用)/失行・Dyspraxia	標準高次動作性検査 Standard Performance Test for Apraxia	SPTA	成人	39歳以下、および40～70歳以上の各年齢帯における各下位項目の成績が示されている	小児では大工道具使用や系列動作は未経験の可能性あり
アバシー (自発性の低下・欠如)	やる気スコア		明示なし	16点以上がアバシー	成人を対象としており、自律・自立していないと質疑が成立しない
意欲・満足度	楽しい学校生活を送るためのアンケート Questionnaire—Utilities	Q-U	小学生～高校生	学校生活意欲と学級満足度の尺度	適応年齢帯に準じる
抑うつ症状	パールソン児童用抑うつ性尺度 Depression Self-Rating Scale for Children	DSRS-C	小学生～中学生	16点以上で抑うつの可能性あり	適応年齢帯に準じる
不安障害	スペンス児童用不安尺度 Spence Children's Anxiety Scale	SCAS	小学3年生～中学3年生	点数が高いほど不安が強いことを表し、小学生と中学生、男性と女性によって基準値が異なる	適応年齢帯に準じる
問題行動 (反抗挑戦性障害、行為障害、脱抑制など)	日本語版アイバーグ子どもの行動評価尺度 Eyberg Child Behavior Inventory	ECBI	2～7歳	強度スコアと問題スコアのカットオフ値がある	適応年齢に準じる